

## 1. 特別養護老人ホーム福光園の沿革、概要

### ○沿革

- ・ 昭和 57 年 4 月 特別養護老人ホーム福光園事業開始（定員 50 名）
- ・ 昭和 57 年 10 月 在宅老人短期保護事業委託契約締結
- ・ 平成 4 年 2 月 福光園 30 床増床（定員 80 名）及びショートステイ（定員 10 名）
- ・ 平成 22 年 4 月 福光園（定員 51 名）、及び福光園短期入所生活介護（定員 10 名）  
一関市真柴から同市萩荘へ移転新築  
一関市真柴の福光園は「福光園アネックス」に名称変更（定員 31 名）  
ショートステイ（定員 10 名）

○事業所名称 指定介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム福光園（岩手 0370901142 号）  
福光園短期入所生活介護（岩手 0370901159 号）

○所在地 岩手県一関市萩荘字大袋 56 番地 4

○電 話／FAX 0191-24-5020／0191-24-5021

○施設長 齋藤 栄康（令和 4 年 7 月 1 日就任）

○開設年月日 平成 22 年 4 月 1 日

○定 員 **【入所サービス】** 定員 51 名  
**【短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護】** 定員 10 名

○施設概要 61 名の全個室で 6 つのユニットを構成。1 ユニット 10 名で家庭的な雰囲気の中でご利用様が自分のペースで生活して頂けるようサービスを提供しております。  
冷暖房完備で、全室に洗面所・トイレを設置。家具類を含め愛用の品々を自由に持ち込み、利用者のお好みによって室内をレイアウトすることが可能です。

## 2. 事業目的

- ・ 社会福祉法人柏寿会が設置する特別養護老人ホーム福光園（以下「施設という。」）は、老人福祉法並びに介護保険法（以下「法」という。）の理念に基づき、「指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準」を遵守し、利用者の生活の安定及び生活の充実と家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目的とする。

### 3. 運営方針

- ・ 老人福祉法並びに岩手県社会福祉基本計画の基本理念に基づき、施設関係者一同力を合わせ、生活の場であり憩いの場である楽しいホームをつくり、利用者の健康衛生管理はもとより、人間性の尊重に支えられた心のふれ合う誠実で明るい生活援助・助言を行ない、ゆとりとやすらぎのある暮らしができるように推進するとともに、地域に密着した施設運営に最善の努力をするものとする。

### 4. サービス実施内容

#### (1). 施設サービス計画の作成

ご利用者の心身の状態や要望を把握し、一人ひとりの介護サービス計画を作成。各職種と連携し、共通した支援目標のもとで、ケアプランを作成。

#### (2). 日常生活介護

##### 【介護】

身体面及び精神面の介護、その他日常生活全般の介護に努めました。

##### 【入浴】

お風呂は各ユニットにリフト付きの個人浴槽で、自由な時間での入浴対応に努め、個人浴槽への入浴が難しい方へは特殊浴槽での対応。入浴ができない方に対して、全身清拭を実施致しました。

##### 【排泄】

排泄ケアは各居室のトイレの他、自然な排泄が出来るようにプライバシーに配慮したご利用者一人ひとりに合わせた援助に努めました。

##### 【着替え・整容】

ご入居者様一人ひとりの身体の状態をよく見極め、衛生面に留意しながら着替えの援助。整髪爪切り髭剃りを行い、外出や行事の際には要望に応じた身だしなみのお手伝いに努めました。

##### 【口腔ケア】

口腔衛生介助は、毎食後実施し、ご利用者の状態に合わせて、歯磨き、うがい、ガーゼによる口腔内の拭き取り、義歯の洗浄などを援助致しました。

##### 【看取りケア】

医師から終末期と判断され、且つ当施設で最後まで暮らすことを希望されたご入居者様（ご家族様）に対して、看取り指針に基づいたケア（「看取りケア」）を実施致しました。

### (3). 食事・栄養管理

食生活の重要性を認識し、栄養バランス・味付け・調理方法・食事の形態等についてご利用者一人ひとりの身体条件、嗜好等を配慮した食事を提供。

また、管理栄養士による栄養ケアマネジメントで健康状態の管理、医師の指示により治療食の提供など現在の状態を維持し、健康で楽しい生活を送れるよう個別のケアに努めた。

### (4). 個別機能訓練

ご利用者一人ひとりの身体状況に応じた、日常生活を送って頂くのに必要な機能を維持する為の訓練の援助に努めた。

### (5). 健康管理

ご利用者が健康で快適な生活を営めるよう、日常の健康管理、定期健康診断・医療機関との連携により、疾病の早期発見・早期対応に努め、健康的な生活を送れるよう援助。

### (6). 各行事・レクリエーション等

ホーム全体では夏祭り、敬老会をご家族参加行事として予定しております。また、ユニットごとに季節行事、誕生会、様々なレクリエーションを実施しました。

### (7). 日常生活の援助

施設での生活の充実を図る為、居室環境の整備、洗濯、理・美容、外出、行政手続きの代行、要介護認定に関する代行等、ご利用者一人ひとりの生活状況に応じた援助に努めました。

### (8). 環境整備・防災対策・事故防止

ご利用者が安全、かつ快適に生活できるよう、建物設備等の維持管理、清潔保持、転倒・転落等の事故防止、容態の急変時等の緊急対応の迅速化、及び防災対策の充実に努めました。

### (9). 要望・苦情相談・家族懇談会

ご利用者やご家族からの相談には、その都度対応し、ご利用者が安心して生活できる環境づくりに努め、日々の相談業務を強化すると共に、「要望・苦情窓口」をご利用者やご家族にとって気軽に利用できるよう努めました。

### (10). 施設の公開

福光園からの情報やサービス内容をインターネット・ホームページより情報発信し、様々な方々からのご意見にも耳を傾け、サービス向上に努めました。

### (11). 緊急時の対応

平日はもとより土日・祝日、夜間におきましても、看護師の24時間連絡体制をとっており、ご利用者の方の急変時にも対応できる体制をとりました。

## 5、令和4年度 成果、反省

### 【介護】

部署名 福光園 幸町ユニット

#### 重点目標

みんなが幸せに過ごせるよう、穏やかに生活して行けるよう常に考えて対応します。

#### 重点実施項目

	実施項目	実施項目への取組	成果・反省
1	何でも話しやすい環境にし、出来るだけ要望を叶えるよう取組めます。	ご入居者様との信頼関係を築けるよう、日頃から会話を大切にコミュニケーションを図る。些細な要望でもニーズとして捉えご家族、他職種とも連携し叶えられるよう努めます。	要望が聞かれた方に対しては対応は対応出来ていたが、疎通困難な方に対してのアプローチが少なかった。
2	誰の為に仕事をするのか、その方の生活リズムを尊重し対応します。	ご入居者様一人一人の状態を把握し、その方のペースに合わせた支援を行います（目標、自立した排泄支援に取組み年間2名の方をオムツ対応からトイレへ移行）。	24時間シートを見直し、活用したことでご入居者に合わせた対応は出来ていた。排泄支援の取組まで手が回らなかった。
3	職員のケアの向上に努めます。	基本的なケアを見直し、当たり前の事をしっかり行えるよう毎月、職員間で目標を決めて取り組めます。	毎月、目標設定し取組んだが業務に追われ、目標意識が薄れていた。目標意識定着させ再度取り組む必要がある。

部署名 福光園 寿町ユニット

#### 重点目標

楽しみ、生きがいを持って快適に生活して頂けるよう支援します。

#### 重点実施項目

	実施項目	実施項目への取組	成果・反省
1	ケアの向上と接遇マナーの向上に努めます。	疾病や介護技術の勉強会の開催（年間6回実施）。ご入居者様の健康維持に努め入院率2%台を目指し取り組めます。優しい口調、言葉遣いを心がけます。	疾病や介護技術などの勉強会を3回実施。また、多職種との連携、情報共有により、ご入居者の状態把握、早期受診に努めたが、入院中のコロナ感染あり入院率4.1%の実績。
2	趣味、レクリエーション活動の取組み。	業務を見直し、ご入居者様との関わりの時間を確保するよう努めます。（目標一日20分程度確保）。季節ごとの行事（年6回以上）とドライブ（最低1人1回以上）を企画実行します。	春から秋にかけて少人数でのドライブは行ったが、年度後半は職員の体調不良やコロナ感染などもあり職員体制整わないことが多く計画通りに行えなかった。

重点目標

「自分が、自分の家族が入りたい施設」 ～ここに居たいと思えるような住まい～

重点実施項目

	実施項目	実施項目への取組	成果・反省
1	ご入居者様に寄り添い、その方の要望に対して柔軟かつ迅速に対応します。	ご入居者様とのコミュニケーションを図ることでその方の要望、ニーズを読み取り、実現出来るようご家族、他職種とも連携協力し対応します。 毎月1回は行事を企画し実行します。	積極的にコミュニケーションを図り、希望や要望に対し可能な限り対応した。対応困難なことでも職員間で共有し検討した。 レク活動については簡易的ではあったが季節毎の行事や誕生会などを行った。
2	ケア向上と接遇マナーの向上に努めます。	月1回は勉強会を実施します。 日頃のケアを振り返り、改善点、気付きを積み上げケア向上に努めます。 ご入居者様へのマナーや言葉遣い、快適な環境を提供するよう努めます。	職員体制が整わずユニット会議が開催できない月が2度あり、勉強会も数回のみの実施となった。ご入居者様に対するマナーや言葉遣い、清潔な生活環境作りは意識し対応した。
3	介護事故ゼロを目標に取り組みます。	ヒヤリハットなど危険事例の分析やその方の行動などを把握することで介護事故年間ゼロを目標に取り組みます。	今期、介護事故が5件発生。内、与薬ミスが4件あった。与薬後の確認不足により薬が床に落ちていたことなどがあった。
4	入院者ゼロを目標に取り組みます。	日頃からご入居者様の状態把握と小さな変化を察知し、健康的に過ごして頂けるよう予防的ケアに努めます。	入院者は昨年度3名（延べ86名）の方が入院となった。入院率2.4%。各職員が情報共有しご入居者様の状態把握に努めた。

重点目標

“ホッ”とするユニット ～笑顔溢れる暮らし～

重点実施項目

	実施項目	実施項目への取組	成果・反省
1	ケアの向上と接遇マナーの向上に努めます。	疾病や介護技術などについて学習会を年間5回開催。 職員ミスによる介護事故を前年度より50%削減目標。 接遇マナーの再徹底（態度言葉遣い、整頓など居室環境整備）。	勉強会は年間6回開催。個人差はあるが勉強会の成果は見られてきている。 介護事故については今年度14件発生。内6件が服薬に関係する事故で重複与薬、飲み込みの確認不足など。ダブルチェックの徹底が課題。 接遇マナーについては丁寧な言葉遣いなど意識しなくても習慣的に身について来ている。環境整備も同様にできている。
2	寄り添うこと。	自宅と変わらない安らげる生活支援に努めます。関わりの時間確保。一日30分目標。	ご入居者様の状態低下に伴い入退院が頻回であった。今年度ユニット入居者の半数以上が入れ替わり、対応に追われた。
3	“できない”を“できる”に。	できるようにするためにどうするか？考え工夫します。	看取りにも対応し、穏やかに最期を看取れたことが自信に繋がる経験ができた。

重点目標

楽しみのある、快適な暮らしをサポートします。

重点実施項目

	実施項目	実施項目への取組	成果・反省
1	楽しみながら体を動かす機会を増やし、心身の健康維持に努めます。	生活リズムを整え、生活がマンネリ化しない日中の過ごし方を工夫します。 体操など体を動かすレク活動や、軽作業の役割を創出など、コミュニケーションを図り、認知機能の維持、心身の健康維持に努めます。	体操やレク活動など習慣的に体を動かす機会が増えた。介助が必要な方へも関節の曲げ伸ばしなど生活リハビリの実施回数を増やしていきたい。自立度が高い方へはタオルたたみなどを通して役割の創出を図った。
2	快適な生活空間作りに努めます。	職員目線の生活環境になっていないかなど生活の場として環境作りを再検討し改善を図ります。前年度、清掃・整頓が行き届かない部分の環境整備を行います。	普段手の届かないところの清掃、環境整備を行った。共有スペース内に職員の私物が置かれており、居室内の物の配置が職員都合で配置されているところがあり改善が必要。
3	職員のスキルアップに努めます。	ユニット会議時に短い時間でも勉強会を行うことで、知識を深め、日頃のケアを振り返る機会を作り、ケアのスキルアップに努めます。	隔月にご入居者様の持病、服薬について勉強会を実施。今年度は骨折や内出血の頻度も多かった。予防の方法を定期的に確認する。

重点目標

～ご家族が安心して任せられるユニット～

- ・精神的に安心して過ごせる環境と介護の提供。・その方の笑顔を引き出せる環境と介護の提供。
- ・また来たいと思って頂ける環境と介護の提供。・その方の性格や状態をよく知る。

重点実施項目

	実施項目	実施項目への取組	成果・反省
1	居心地良い環境を提供します。	こまめな掃除と環境整備（居室掃除は週一回行う）。 衣類や飲み物など自由に選択できるような生活環境、くつろげる環境を提供します。	掃除はある程度は行き届いていたと思う。食堂や居室などの床には目がいくが柵までは目がいかず汚れており利用者さんからの指摘もあったので気をつけていく。
2	笑顔や得意なことを引き出すことで生甲斐の創出に努めます。	月1回レク活動を実施します。 その方ができることを引き出し、調理や味見味付け等出来ることに参加を促します。 ご利用者様とコミュニケーション取れるよう業務を見直す（20分程度時間を捻出）。	食事系のレクは出来ていたが、運動系のレクはあまり行えなかった。パズルや脳トレなども行ってきたが最近では出来ない利用者も多くなってきた為、その人に合ったレクをできるようにしていきたい。
3	安心して過ごして頂く為、介護事故ゼロを目標に取り組みます。	薬に関する介護事故をゼロを目標に取り組みます。 安心して過ごしてもらえるよう、の性格を知り、個性に合わせた声掛けと介助をする。 職員間で情報の共有をする。	介護事故は14件あり、内、薬の事故が5件（与薬忘れ、飲み込み確認不足、服薬の時間間違い）。ひやりハットは3件。前年度より介護事故件数は減少したが同じ利用者に対し複数回あり具体的な対策の検討が必要。

【看護】

部署名 福光園 看護

重点目標

ご本人及びご家族のご意向を尊重したケアの実施を心掛けます。  
安らぎのある生活環境、穏やかに過ごして頂けるよう支援します。

重点実施項目

	実施項目	実施項目への取組	成果・反省
1	身体的、精神的な健康づくり。	ご本人、ご家族の言葉、思いへの傾聴とそれに対して私たちに出来る事を常に考え、具体的に実行できるようにします。	ご入居者様との関わりについては医務的な業務の他にも、傾聴するなど積極的に関わりを持つようにした。
2	看取り介護、多職種サービス協働体制。	穏やかに終末期を迎えられるよう、医師、看護、介護、関係機関等と共に良好な地域連携を構築し支援していきます。	終末期のケアにおいて、ご家族とコンタクトを取りご本人、家族、施設と意思共有図り支援した。医療機関とも円滑に連携を図れた。

【機能訓練指導員】

- ・ ご利用者様一人一人の能力に応じた個別機能訓練を実施し、機能改善・維持に努めた。
- ・ 各職種と連携し離床や生活リハビリを展開することにより、廃用症候群の予防や活動性の維持・向上に努めた。

【給食】

部署名 福光園 栄養管理・給食

重点目標

- ① 季節感のある食事の提供。
- ② おひとりお一人に合わせた栄養ケアを行い、健康的な生活を送っていただく。
- ③ 衛生に気を配り、安心安全な食事作り。

重点実施項目

	実施項目	実施項目への取組	成果・反省
1	季節や嗜好を意識した食事の提供。	季節に合った食材の使用と行事食を提供する。ユニットごとに希望食の提供を行い、季節にあったメニューや食べたい物を用意し、ご利用者様に楽しんで頂く食事作りを取組めます(毎月2ユニットずつ実施)。	ご入居者様への希望食提供は職員体制の都合もあり計画通りにできなかった。次年度は人員も足りる予定なので以前のように毎月2ユニット程度行っていきたい。
2	その方の状況に合わせた栄養ケアを行い、健康をサポートする。	玄米ご飯などの取り組みを継続し、食事面から健康維持をサポートし入院者数を前年度より減少させる。	今年度は誤嚥性肺炎で入院する方が多かった。誤嚥性肺炎予防を重点的に行いたい。玄米ご飯は下半期あまりできなかったなので、再開したい。
3	厨房内の衛生管理、調理作業時の衛生管理、異物混入等注意する。	清掃表を活用し、効率よく掃除できるようにする。四半期毎に勉強会を行い衛生管理等の知識向上に努める。	清掃は定期的に行った。勉強会についてはコロナ陽性者が出るなどもあり計画通りは出来なかった。

## 【総括】

- ・ 令和4年度も前年度に引き続きコロナ対策に追われた一年となりました。面会制限や行事中止など、ご入居者、ご家族にとっては面会機会の喪失や社会的交流の減少により心身の健康への影響が懸念されました。各ユニットではご入居者の生活の質を保つ為、日中の関わり方やレク活動など小規模ながら工夫し行事等実施致しましたが長期化するコロナ禍での対応に苦慮致しました。
- ・ 新型コロナへの対応については、ご入居者、職員に対し5回目のコロナワクチン接種を推奨し実施。施設職員に対しては定期的に抗原検査を実施し感染拡大予防に努めました。しかしながら、介護、厨房、事務職員等においては、断続的に感染者が発生し、濃厚接触者においても多数確認されました。出勤停止措置により勤務体制に支障が生じ、ユニット隔離措置や厨房機能が数日間ストップするなど施設運営にも影響がありましたが、保健所からの指示、指導を頂き、感染拡大防止、感染予防対策に努めました。幸いにもご入居者への感染はなく、クラスターに発展することもなく収束しております。引き続きコロナ等の感染症対策に努めて参ります。
- ・ 研修、勉強会については各ユニットにおいて各々実施しました。令和4年度下期にはご入居者様の重度化予防の一環として「誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト」に取り組み始めております。ご入居者の重度化予防と入院者の減少に繋げる目的であります。
- ・ 介護福祉士資格及び医療的ケア研修については、介護職員の9割が資格取得し体制の充実を図っており、経管栄養のご入居者様が14名と全体の27%を占める中、経管栄養の対応、喀痰吸引など医療的ケアへの対応も行っております。
- ・ 令和4年度の稼働率については、長期入居93.6%（前期比2.9ポイント減）、短期入所72.0%（前期比5.4ポイント増）。全体では90.1%（前期比1.5ポイント減）。目標とする95%未達。
- ・ 入院者については年間延べ943名の方が入院（前期比419名増）。入院率（年間延べ入居者数に対する入院者の割合）についても5.1%と年度当初の目標入院率2%台は達成できなかった。ご家族の意向に添い、医療機関と連携し施設での看取り介護に力を入れ、日頃のケア、早期対応により入院者の減少に努めましたが、ご入居者様の重度化の進行や入院中のコロナ感染により入院期間が長期化するなどもあり入院者の増加に繋がった。
- ・ 短期入所の稼働率については、長期的利用者のキャンセルなど予約キャンセルが続いたこと、職員体制が安定しなかったことなどが低調の要因。
- ・ 来年度においても引き続き、「入院者の減少につながるケアの充実」、「ショート、空床活用としてご利用者受け入れの工夫、営業活動」の両面を重点的に進めて、稼働率 97%を目標に努力して参ります。



## 6. ご入居者の状況

### (1) 市町村別入退居状況

入退所別 性別 市町村別	R3 年度末 入居者			入 居			退 居			R4 年度末 入居者		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
一 関 市	13	36	49	3	9	12	3	10	13	13	35	48
平 泉 町		1	1								1	1
一関地方広域計	13	37	50	3	9	12	3	10	13	13	36	49
陸前高田市		1	1								1	1
岩 手 県 計	13	38	51	3	9	12	3	9	12	13	37	50
合 計	13	38	51	3	9	12	3	9	12	13	37	50

### (2) 月別入退居及び在籍状況

項目別 \ 月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入 所		1	1	1		1	3	1	1	1	2		12
退 所		1	2		1	2	2		3	1		1	13
月末人員	51	51	50	51	51	50	50	51	49	49	51	50	
男	13	14	13	13	13	13	12	13	13	13	13	13	
女	38	37	37	38	37	37	38	38	36	36	38	37	

### (3) 退居理由

理由 性別	死亡	長期入院	希望退所			計
			帰宅	入院	他の施設	
男	2	1				3
女	8	2				10
計	10	3				13

## (4) 入居前の居住状況

区分 性別	自宅	病院（療養 型）	グループホーム	老人保健施設	その他の 施設	計
男	2	5		3	3	13
女	7	11	6	5	8	37
計	9	16	6	8	11	50

## (5) 年齢状況

年齢 性別	60～ 64	65～ 69	70～ 74	75～ 79	80～ 84	85～ 89	90～ 94	95～ 99	100以 上	計	平均年齢
男				3	3	5	1	1		13	84歳7ヶ月
女			2		6	10	8	6	5	37	89歳8ヶ月
計			2	3	9	15	9	7	5	50	88歳6ヶ月

最高年齢者 男性 98歳 女性 101歳  
最低年齢者 男性 76歳 女性 71歳

## (6) 在所期間入居者状況

期間 性別	0.5年未満	0.5年～ 1年未満	1年～ 3年未満	3年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年～ 15年未満	15年～ 20年未満	計
男	2		4	1	4	2		13
女	5	3	12	7	10			37
計	7	3	16	8	14	2		50

## (7) 身体障害者手帳の所持状況

区分		肢体	視覚	聴覚	内部	複合	計
性別	種 級						
男	一 種	1級	4				4
		2級	2	1			3
		3級					
	二 種	2級					
		3級					
		4級				1	1
小 計		6	1		1		8

女	一 種	1級	3	1			4
		2級					
		3級					
	二 種	2級					
		3級	2				2
		4級	1				1
		6級					
小計		6	1			7	
合計		12	2		1	15	

(8) 医療負担区分状況

区分 性別	後期高齢者医療	社 保	国保、健保、共 済、組合	医療扶助	計
男	13				13
女	35		2		37
計	48		2		50

(9) 外泊の状況

月別 性別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(10) 月別入居者延べ日数及び平均人数

	延べ人数	延べ入院者数	一日平均	実利用率
4月	1,530	69	50.7	95.5%
5月	1,573	85	50.5	94.1%
6月	1,517	65	49.5	94.9%
7月	1,575	89	50.4	94.0%
8月	1,558	120	49.6	91.0%
9月	1,492	103	48.8	90.8%
10月	1,548	81	48.4	92.8%
11月	1,506	44	47.8	95.6%
12月	1,539	54	49.5	93.9%
1月	1,537	58	49.7	93.6%
2月	1,418	42	48.3	96.4%
3月	1,579	133	47.4	91.5%
計	18,372	943	49.2	93.6%

## (11) 入院の状況

項目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		内科	入院	69	85	65	89	120	103	81	44	54	58	42
計	延日数	69	85	65	89	120	103	81	44	54	58	42	133	943

## (12) 介護保険負担限度額

	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階	計
男性	0	3		4	6	13
女性	0	10	7	8	12	37
計	0	13	7	12	18	50

## (13) 要介護状態区分の状況

	未登録	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
男	0	0	0	4	4	5	13	4.07
女	0	0	0	5	16	16	37	4.29
計	0	0	0	9	20	21	50	4.24

7. 処遇行事の実施状況

月 日	共通行事	ユニット行事
4月 8日 15日	理容 "	幸 町～ドライブ (お花見) 寿 町～ " 八幡町～ " 末広町～ "、誕生会 3名 田村町～ "、誕生会 2名
5月 6日 13日	理容 "	幸 町～ドライブ (新緑)、誕生会 2名 寿 町～ " 末広町～誕生会 1名 田村町～ドライブ (遊水地公園)
6月 3日 10日 10日 23日	理容 " 藤田マサ様百歳のお祝い 物故者法要	幸 町～ドライブ (買い物ドライブ) 寿 町～ " 八幡町～誕生会 2名 末広町～ドライブ

7月	1日 8日 13日	理容 " 避難訓練	幸町～ドライブ (新緑) 寿町～ " 八幡町～誕生会 1名 末広町～買い物ドライブ 田村町～ドライブ 誕生会 2名
8月	5日 12日 24日 30日	理容 " 避難訓練 (非常招集訓練) 花火大会 (老楽園合同)	幸町～花火会 寿町～ " 八幡町～ " 末広町～ " 田村町～ "
9月	2日 14日 20～30日	理容 避難訓練 敬老のお祝い	幸町～カレー作り 誕生会 1名 寿町～ドライブ 誕生会 1名 八幡町～ドライブ 誕生会 1名 末広町～ドライブ 田村町～ドライブ
10月	7日 12日 14日	理容 総合避難訓練 理容	幸町～ハロウィンパーティ 誕生会 1名 寿町～芋のこ会・紅葉ドライブ誕生会 1名 八幡町～紅葉ドライブ 末広町～ " 田村町～紅葉ドライブ
11月	4日 9日 11日	理容 停電検査 理容	幸町～芋のこ会 誕生会 1名 寿町～ドライブ 誕生会 3名 八幡町～鍋パーティー 末広町～ " 田村町～ " 誕生会 3名
12月	3日 17日 27日	理容 " 鏡餅、みずき飾り作り	幸町～忘年会・クリスマス 誕生会 1名 寿町～ " " 誕生会 3名 八幡町～ " " 誕生会 3名 末広町～ " " 誕生会 1名 田村町～ " " 誕生会 1名
1月	6日 13日	理容 "	幸町～新年会 寿町～ " 誕生会 2名 八幡町～ " 末広町～ " 誕生会 1名 田村町～ "
2月	3日 10日	理容 "	幸町～節分の会・バレンタイン企画 寿町～ " " 誕生会 1名 八幡町～ " " 誕生会 2名 末広町～ " " 田村町～ " "
3月	3日 10日	理容 "	幸町～ひなまつり企画 誕生会 2名 寿町～ " 八幡町～ "

		末広町～ ” 誕生会 2名
		田村町～ ” 誕生会 2名

\*上記以外に利用者の誕生日に合わせてユニットでその都度誕生会

## 8, ボランティアの受け入れ状況

(敬称略)

頻度	ボランティア氏名(団体名)	内容
月1回	菊地武志 様	理容

## 9, 実習の受け入れ状況

期 間	施 設 名 ・ 学 校 名
R4.7.25 (月)～7.27 (水)	県立花泉高等学校 2年生 1名
R4.7.29 (金)	県立花泉高等学校 3年生 2名 (応募前職場体験)

## 10, 研修の実施状況

### (1) 施設内研修

1. 感染症対策研修 R4.12.7 (水) 一関保健所オンライン研修
2. 事故対策研修 随時 施設職員
3. 身体拘束廃止検討研修 施設職員
4. 事業継続計画 (BCP) 策定セミナー R4.7.27(水) 岩手県社会福祉協議会オンライン研修
5. 誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト (口腔ケア) 勉強会 R4.11.1(火) ユーチューブ
6. 普通救命講習会 R5.3.29 (水) 一関西消防署員
7. 各ユニット勉強会 随時 施設職員

### (2) 施設外研修

- ・ 岩手県高齢者権利擁護看護実務者研修 R5.2.20(月) オンライン